



「あだち放課後子ども教室」は区内の小学校内で、地域の方（スタッフ）の見守りのもと子どもたちが遊びや読書など自主的に活動する場です。

今月のテーマ

子どもたちの成長を実感



地域の子どもたちを、地域の大人で見守り育てる、放課後子ども教室。見守りスタッフとして長年活動してきた3人のスタッフリーダーに子どもの様子についてうかがいました。

●何気ない言葉に成長を感じます

風邪気味の私に、高学年男子が「大声出すとつらいだろうから注意されないよう遊ぶよ」と声をかけてきました。低学年から外遊びが大好きで、時々はめはずして、スタッフが注意することもある子でした。何気ない言葉にやさしさと成長を感じた瞬間でした。(花畑小「フラワーキッズ」国枝さん)



子ども一人一人に声をかけます

●6年間の成長を見守ります

低学年の頃は聞き分けがよかった子どもたちも、学年が進むと反論したり話を聞かなくなったりする時があり、対応に悩むことがありました。今年3月の最終日、6年生が数人で「今までありがとうございました」と言いに来てくれました。改まった口調でお礼を言う姿を見て、6年間の成長を感じ、目頭が熱くなりました。(保木間小「わかばっこ」野澤さん)



受付では笑顔で子どもを迎えます

●卒業生が街で声をかけてくれます

スタッフとして活動して10年、街で会って気軽に声をかけてくれる卒業生も多く、先日、スタッフを始めてすぐの頃の卒業生が「間もなくお母さんになる」と笑顔で報告してくれました。その子の成長がうれしく、誇らしく、いつか卒業生が産んだ子をスタッフとして見守ることができるかもしれないと楽しみにしています。(舎人第一小「とねいちキッズパレット」大森さん)



子どもの話に耳をかたむけます